

3 電子メディアの関わり等の実態とモラル教育

資料3

(1) 電子メディアの関わり等の実態

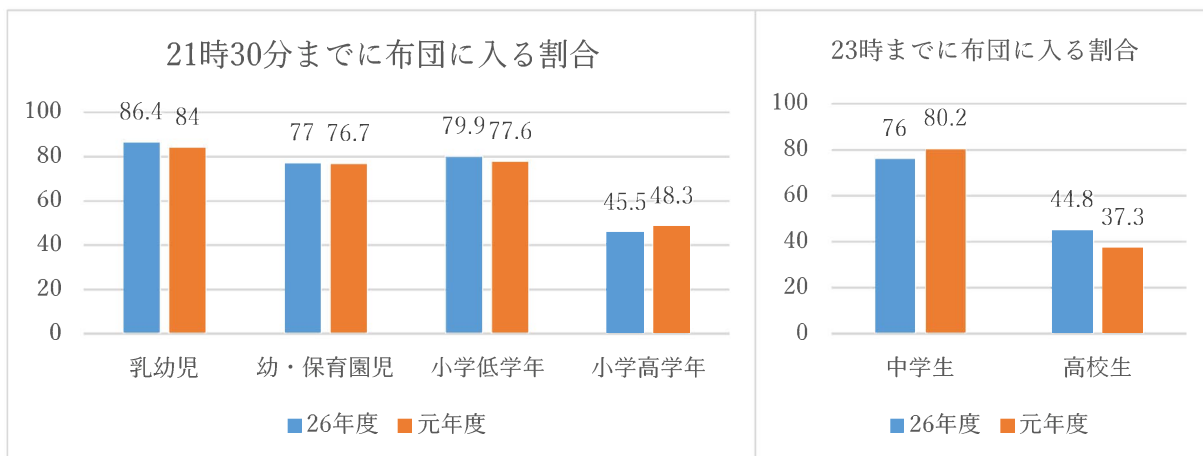
令和元年度 親子保健計画中間評価アンケート結果から

調査対象 市内0～18歳の子どもの持つ保護者

調査日 令和元年9～10月

抽出式 対象者5,460名 配布者1,916名 回答者1,525名

①小学校低学年までは、おおむね80%が21時30分までに就寝

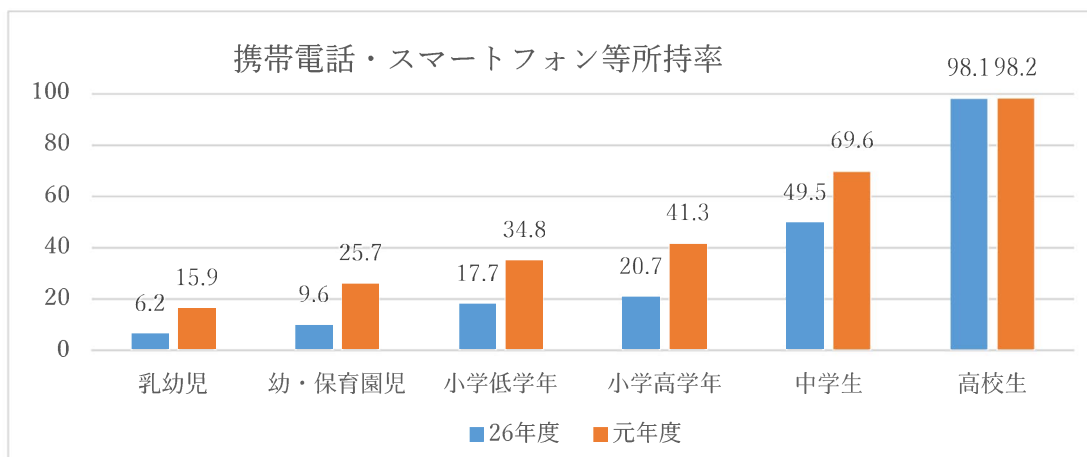


②就寝が遅くなる理由は、未就学児・小学生では「テレビ」「親の帰宅時間」、中・高校生では「メール・インターネット」

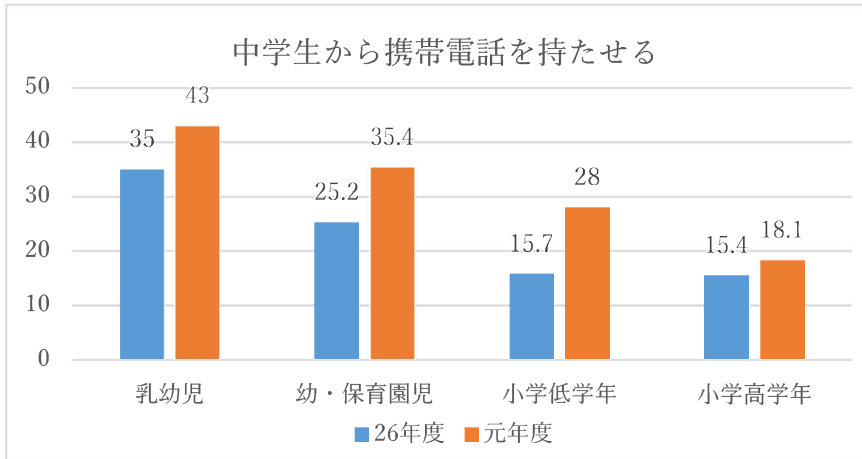
21時30分以降に布団に入る理由は何ですか。（中・高は22時30分以降）

	1位	2位	3位
未就学児	親の帰宅時間が遅い	テレビを見ている	習い事に通っている
小学生	テレビを見ている	親の帰宅時間が遅い	スポーツクラブに通っている
中学生	勉強をしている	テレビを見ている	メール・インターネットをしている
高校生	勉強をしている	メール・インターネットをしている	ゲームをしている

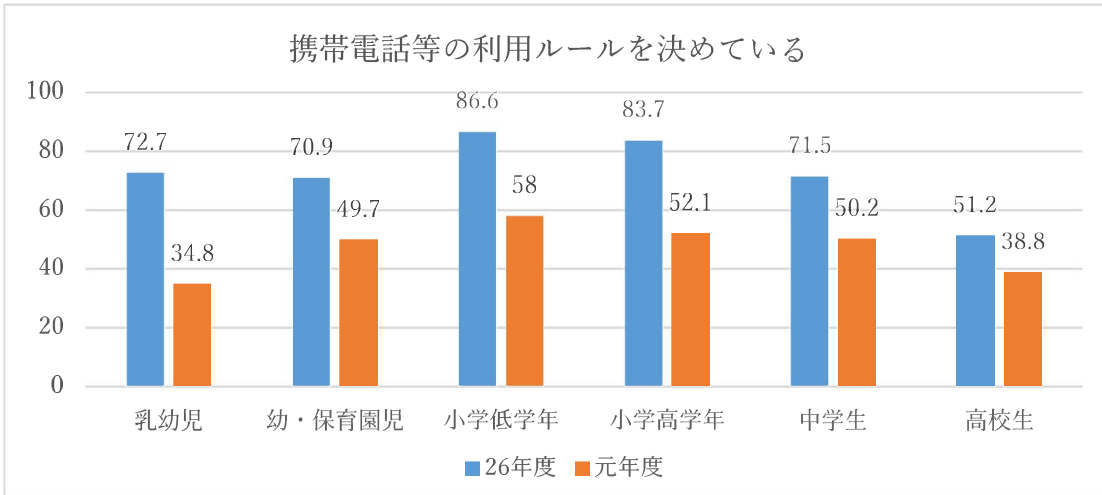
③携帯・スマホ等の所持率(保護者との共有を含む)は増加



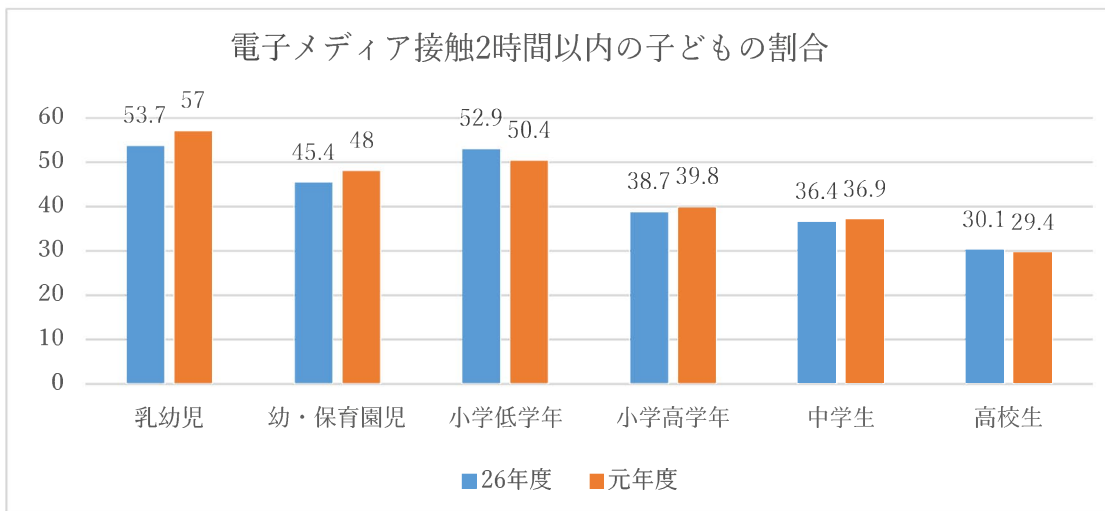
④携帯は中学生から持たせると考える親が増加



⑤携帯等の利用ルールを決めている家庭が減少



⑥接触2時間以内の子どもの割合は比較的多い



(2) 家庭との連携・協働によるモラル教育（メディアとの付き合い方のルール）

<子ども一貫教育とのかかわり：基本計画「健やかな体の育成」より>

○学校における情報教育の充実により、子どもは抵抗なくPCを使用し、学習を進めている。

△携帯ゲームやスマートフォンを使用する子どもは、低年齢化し所持率は年齢が高くなるにつれ増加している。また、電子メディア依存が加速している。

△電子メディア依存により、生活リズムを崩すだけでなく、家庭での学習時間の減少、学力の低下等、健康面や生活面での悪影響が出ている。

【課題】電子メディアとのよりよいかかわり方

※今後は、一人一台のタブレットによる学習が始まる。

<学校の役割>

- ・電子メディアの正しい利用啓発
 - ※①学習用iPad使用ガイドラインの制定
 - ②保護者、地域と連携した電子メディアのルール作り
「我が家ルール」作りと家庭内でのPDCAの徹底
- ・健康教育や食育の推進
- ・遊び・運動の奨励

<家庭の役割>

- ・電子メディアのルール作り
 - ※同上・PTAの研修会などの取組
- ・愛着形成・リアルを充実させることの重要性
- ・家族ぐるみの健康づくり実践

<関係機関を含めた地域ぐるみの教育の推進>

- ・CSを活用した改善策の計画・実践
- ・文化の伝承を通じた連携・協働による世代間交流（リアルを充実させることの重要性）
- ・安全・安心な環境づくり

- 1 ねらい 成長に伴い、食事や睡眠・休養などが後回しにされ、健康的な生活習慣を整えることが難しくなっている。また、体の健康だけでなく心の健康を害したり、電子メディアから離れられなくなったりする場合もある。そこで、電子メディアと健康の関わりについての意識を高める機会とする。
- 2 テーマ 「メディアによる心身の影響（仮）」
- 3 日時 令和2年1月23日（木） 13：45～15：00
※13時50分～14時25分（児童向けの内容：児童＋保護者）
14時30分～14時55分（保護者向けの内容：保護者）
- 4 会場 音楽室（予定）
- 5 指導者 国立病院機構さいがた医療センター
精神科診療部長 佐久間 寛之 様
- 6 対象者 5・6年生，全校保護者
- 7 当日の流れ *進行：学校保健委員会班長：能見 柔子さん
 - (1) 開会の挨拶（PTA生活委員長）・・・1分
 - (2) 青海小児童の実態（山下）・・・3分
 - (3) 講話（佐久間医師）・・・25分（児童向けの内容）
 - (4) 児童質問・感想発表（事前に決めておく）・・・4分
～児童退席～
 - (5) 講話（佐久間医師）・・・25分（保護者向けの内容）
 - (6) 保護者質問・感想発表（生活委員を中心に事前に決めておく）・・・4分
 - (7) 閉会の挨拶（小野校長）・・・1分
- 8 準備と係分担
 - (1) 資料・要項作成（山下）
 - (2) 記録写真（PTA生活委員会学校保健委員会班）
 - (3) 保護者案内文書と学校保健委員会報告（学校保健だより）の作成（山下）
 - (4) 保護者用感想記入用紙準備（山下）
 - (5) 会場準備、後片付け（PTA生活委員会学校保健委員会班・山下）
- 9 その他
 - ・講師謝礼はPTA活動費（生活委員会）から支出する。

ほけんだより 2月

R2. 2. 3 (月)
糸魚川市立青海小学校
No.11

ゲーム・インターネット依存のお話を聞きました！

1月23日(木)に、さいがた医療センターの佐久間寛之先生から、5・6年生とおうちの方にゲーム・インターネット依存についてお話をさせていただきました。



ゲームは面白い！だけど、他のことができなくなるまでやい続けてしまうと…

ネット依存になってしまいます。「ネット依存」とは何でしょうか？

…ネットやゲームなしには生きていけず、ネットやゲームが生活の中心になって、他のやるべきことができなくなる状態の事です。ネットやゲームにのめり込むのは、楽しいからだけではなく、現実から逃れようとする気持ちもあります。

ネット依存になると…


からだ
＜体へのえいきょう＞

- 体力低下
- 腰痛、頭痛
- 食生活の乱れ



こころ
＜心へのえいきょう＞

- 寝付けない
- うつ
- いろいろ
- 昼夜逆転
- 人間関係がこわれる
- 学校へのえいきょう



予防はどうしたらいいの？

- 使う時間を決めよう！
- ルールを決めよう！
- ぶとんにスマホを持ち込まない！充電は机です。
- 課金はおこづかいの範囲で！
- 家族や友だちとあそぶときは、スマホはなるべくいじらない！
- スマホ飯はやめよう！
- ゲーム、スマホよりも楽しいことを家族とする、見つける。

佐久間先生が、みんなが好きなゲームの話をしてくださり、5・6年生から発言や感想、質問がたくさん出ました！



佐久間先生は、「ネットもいいけどリアルを充実させることが大切です。めざせリア充！」とおっしゃっていました。読書、友だちと体を動かす、料理など自分の好きなことが何かあるといいですね。

学校保健委員会

学校保健委員会が「ゲーム・インターネット依存を知ろう」のテーマで行われました。当日はたくさんの保護者の方々においでいただきました。本当にありがとうございました。

～保護者向けの講演～

ネット依存にならないための予防とは？

- ・親の名義で購入し、子どもに貸し出す
…「ルールを守らなければ貸し出しをやめるよ。」と子どもに伝えておく。
- ・使用ルールを最初に決めておく
…時間、課金、ゲームの種類、有害サイト、SNS・掲示板など
- ・スマホ、ネットは共有スペースです
- ・利用内容に親が関心をもつ
- ・PCを独占させない、子ども部屋に設置しない
- ・ネット教育をする（親も含め）
…メリットとデメリットの両面、ネットの危険性など
- ・フィルタリングサービスを利用する
- ・親に無断でオンラインショッピングや決済をさせない
- ・ルールを決めたら、親も守る
…親がスマホ飯、スマホ運転、歩きスマホ、夜中までスマホ、オンラインショッピングし放題では、子どもは納得しない
など

保護者の方からも感想やご家庭で感じているメディアの使用についての質問がありました！



講演を聞いての感想

ネット依存になると体にも心にもえいきようがあることが分かった。ゲームばかりじゃなくてリアルも楽しく充実した、リア充になりたい。

ゲームじゃない、ちがうしゆみもちたいと思った。(6年児童)

現実で楽しいことをみつけてインターネットなどを適度に使っていきたいと思った。インターネットも上手に活用しながら現実も楽しんでいきたい。

スマホでいろいろなことができるので使うようになった時は、気を付けたいと思う。(5年児童)

楽しくお話を聞かせていただきました。子どもにもゲーム機を与える前に、佐久間先生のお話を聞くことができよかったです。

「ルールを決めたら親も守る」を守りたいと思います。寝スマホ気をつけます。(保護者)





風の子

糸魚川市立木浦小学校

H30 学校だより No.9

平成 30 年9月 25 日発行



秋桜風にゆれ

私たちはゆずらない メディア利用のルールをめぐり

校長 富永 浩文

「中高生ネット依存 7人に1人」 9月1日(土)の朝刊に衝撃的な結果が報道されました。子どもたちのネット依存が急速に広がっているというのです。コンピュータ、スマートフォン、ゲーム機等の電子メディアを利用した活動に没頭するあまり、やめられない、抜け出せないという依存症になるのです。

ネット依存の問題は、これまでも対応策について議論されてきました。糸魚川市でも中学生のネット使用について生徒会交流会が自主的にルールを作り、啓発活動を行ってきました。また、能生中学校区でも、メディア利用のルールとして2時間を上限とする目標を設定するとともに、各学校において実践に取り組んできました。しかし、引きこもり、暴力、生活習慣の乱れ、学習意欲の低下、人間関係トラブル等、多くの問題の発生はとまりません。問題

が低年齢化する傾向もあります。

本年度、市のPTA連絡協議会では、電子メディア・親のルール策定案を提示しました。教育委員会でも「小学生ネット・電子メディアの利用の約束」(案)を示しました。当校でもこれを受け、1学期子どもたちと話し合いをもちました。この流れを生かして、各校PTAとしてもネット・電子メディア利用のルールを策定することが必要です。



上教大 田辺先生の話に聞き入る そんな中、6日(木)学校保健委員会において「ネット社会の光と影」と題して、これからのメディアとのつきあい方について親子で真剣に学習しました。そして、PTA役員さんの主体性を生かし、「木浦小学校PTA ネット・電子メディア利用のルール」(案)を作成することができました。さらに11日(火)の全体会でその案が承認され、各家庭での話し合いのもと我が家のルールを作成し、実践することとなりました。

保護者の皆さんの主体的な取組に心から敬意を表します。保護者として、子どもたちに責任をもって範を示し、毅然としてルールの徹底を図る姿勢が必要と考えます。子どもたちの未来を守り、自立を促すのは大人の大切な責務です。市では、0歳から18歳までの子ども一貫教育方針を掲げ、「瞳輝く日本一の子ども」を育てる取組を行っています。心、体、学力のどの内容においても、メディア利用についてのルール作りが示されています。私たちはゆずらない覚悟をもって、互いに足並みをそろえて子どもたちの健全な育成に取り組んでいきましょう。



子どもたち、保護者から驚きの声も

木浦小学校 PTA 版 ゲーム・電子メディア 利用のルール H30.9 策定

△ 木浦小学校PTAのルール

木浦小学校PTA
ネット・電子メディア利用

だれもきずつけない。
だれも悲しませない。

みんなが守る。
みんなが幸せになる。

ルール

- 利用時間を守ります。
ゲーム・テレビを含め合計2時間まで
互だちとの通信は午後7時まで
- 利用できる年れいを守ります。
- 相手がいやな気持ちになる言葉は使いません。
- トラブルが発生したらすぐ大人に知らせます。
- かってに写真、動画をネットにアップしません。
- 家庭での約束を守ります。

糸魚川市小学生 ネット・電子メディア利用 三つの約束
糸魚川市PTA連絡協議会 電子メディア・類のルール策定室 をもとに作成

木浦小学校PTA
ネット・電子メディア利用

みんなで上手に使おう

みんなで上手につきあおう

わが家のルール

ルールが守れないときは、利用をやめます。 名前く

▽ PTAのルールをもとに家庭のルールを作成

○子どもたちは大人のことを見えています。周りの大人も気をつけて利用していきましょう。